

# 理学

# 筑波斗争委員会に結集し

登校された總ての学友諸君！就中、理学部の学友

諸君！

筑波斗争を、理学部において高度重视に目的意識性を持つたものとして推し進め、本館封鎖を是と全學ストを実現する事を目標とするとして結成された、理学部斗争委員会（半）は、諸君に若干の局面評価（とりわけ本館封鎖の持つ意味と、全學斗争委員会（半）結成の意旨について述べ、次に試験ボイコットを含む全學ストライキ斗争への发起を促すとともに、その中における理学部ストの決定的・重要性について詳説したい。

## 笠原三三の現局面、本館封鎖と全學三三の結成

6.20 調査費計上未定に対する反対運動の発展によりに開発されて始つた、今回のストライキ斗争は、本日（8日）自らも終息、数百はストに入れず、我々全學部は、8日間でもつて、ストライキ斗争は終焉するという限界性は持ちつつも、文尊部斗争委員会の奮闘なストライキ体制は、困難な夏休みをものりきり、無が新たなる斗争体制に入ろうとしている。又、建設でも手争体制の本氣が図らされている。これは、全体として、本館封鎖を基軸とした、全學ストの実現へと向つている。

それでは、本館封鎖の持つ意図は何か、それは、現在の移轄審議の主導権の危機部教授会から、訴訟会、MP委への移行にあつた、我々の斗争の道義的な対応への必要性から出でてくる、大學当局への対抗戦の、専門教授会から訴訟会、MP委への移行として、我々学生の意志と力を大學当局に誇示する手段としてあることである。これが、本館封鎖の一の大結果とし、斗争の旨意にきはかるものとしてある。

二つ目は、問題点の二、それは何か、それは、現在の大学当局にとつて「かん」として存在する本館封鎖へ本館封鎖対策本部設立に見られる、大學当局のうろたえを見よ（）を、全學的な規模において死守し、それを総集点とし、試験ボイコットを島田全學ストを実現せんとするものとしてあるのだ。

## 全學スト・ライキ・試験ボイコット体制の確立を！

現在斗争は極めて重要な局面にさしかかっている。この25日から予定されている討厭もあつて、月日16日から一周間の斗争の延舌が、現在一々に進行して

いる状況、大學当局の運動化本況へ表れて大勢向母研究局の設立、教一専部長の辞任内閣を、学生のハゲモニーの下、有利に切り開く事がどうかが大まるのだ。

専大諸君！ 压倒的全學スト実現と、試験ボイコットの成功により、討厭本況を実現を図る口とし、筑波移転討議白紙撤回の願望を叶ふべう！

理学部のスト実現が斗争、の全學化の力がである。 球吉吉子は、主導に文尊部の学友に荷われたものとおづくいる。建物が大壇に近く、教育尊部の運動の本拠地を考えるならば、理学部の斗争の重要性がいかに大きいものであるかが分るだろう。大壇三三部のストが斗争の大きな位子を占めているのを、早急にクラス討議の復活を、ストライキ体制を早急に打ち固めよう。

## 試験ボイコットせよ

試験ボイコットの持つ意味は、次の三点にまとめるにあらねばならない。一つには、現在の筑波斗争として、既存の教育大の教育体制への批判といつて、教授会を捕つており、そうした現在の教育の並長程にあるテストをボイコットするということ、二として、試験ボイコットという高度度の斗争を百百成功させることにより敵への攻撃力の効果としてあり、第三として、現在の層面・島生自らの手により拘束してゆくものとして、テスト延期を教授会にお願いする、という形と実現せよとするやう。

- ・研究学園都市ね想みだ！
- ・あくまで計上白紙を以て！
- ・MP委即開設！
- ・訴訟会大阪校友をめちどるぞ！
- ・本館はめ対策本部解説！
- ・前川訴訟をボイコットせよ！
- ・山大協路線解説！
- ・諸君斗争と連帶して、政府孤立の大學支配を粉砕するぞ！

今後のスケジュール

16日5時55分 方針討議 17日2時 全學集会  
18~20日 理学生大会 →スト